

## コンプライアンス

### コンプライアンスの推進

オリンパスグループでは、誠実で法令を遵守する企業風土の醸成に努めています。2019年9月には新たに「オリンパスグローバル行動規範」を制定しており、当社ホームページに18カ国語で公開されています。詳細については以下のURLにてご確認ください。

 **オリンパスグローバル行動規範**

<https://www.olympus.co.jp/company/philosophy/code.html>

### コンプライアンス推進体制

オリンパスは、CEO直轄のチーフコンプライアンスオフィサー（CCO）を任命しており、グローバルで連携しています。また、その状況については、社外取締役で構成される監査委員会が独立した立場で監査を行っています。オリンパスは、グローバルコンプライアンスリーダーシップチーム（GCLT）を設置し、CCOを委員長としてリージョナルコンプライアンスオフィサーやグローバルコンプライアンス統括部のリーダーが参加しています。GCLTでは、コンプライアンスに関する方針・施策をグローバルに展開し、地域の状況や課題を把握し、必要な是正措置を実施しています。

### コンプライアンス推進体制図

(2020年7月末現在)



### 通報制度(内部通報)

オリンパスグループは、コンプライアンスに関する問題を、ウェブサイトや電話を通じて相談・通報する窓口としてグローバル通報受付窓口「インテグリティ・ライン」を設置しています。インテグリティ・ラインは第三者により運営されており、秘匿性が確保されています。これは各地域のさまざまなヘルプラインを補完するものであり、懸念の提起を促すことを目的としています。オリンパスは通報者の保護に努めており、誠意を持って懸念を表明した個人に対するいかなる形の報復も禁止しています。

### コンプライアンス教育

オリンパスはコンプライアンス意識の啓発と、重要法令や社内規則などの理解促進と遵守徹底を目的に、コンプライアンス教育の充実を図っています。具体的には、ステークホルダーの信頼獲得に向け、コンプライアンス研修を充実させ、日々の業務プロセスやコミュニケーションにコンプライアンスの原則を取り入れるよう努めており、従業員や管理職を対象に、不正防止や公正競争などに関するコンプライアンス研修を実施しています。例えば国内では、従業員向けの研修プログラムを各担当分野や関連するコンプライアンス・リスクに合わせて実施しています。海外においても、各地域統括会社単位で計画的かつ体系的にコンプライアンス教育を行っています。